

2023

令和5年9月21日

第41号

(通算87号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 未来の安全を高校生が議論

9月20日(水)、県立水戸工業高等学校で本校の専任講師による「アイデアソン」が情報技術科1年生(40人)を対象に実施されました。

アイデアソンは産学官連携で、IT人材の育成に取り組む「いばらきP-TECH」の一環での開催です。テーマは、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合に因んでテーマを「AI時代の安全・安心を考える」としました。

高校生はグループに分かれ新聞記事をベースに「経済安全保障」「国際テロ」「サイバー攻撃」等の具体的なテーマを決めてその課題解決に向けて、図書館の書籍や新聞、ICTを活用し話し合いました。

グループごとに議論し、課題設定から課題解決に向けた提言をボードにまとめあげ、発表が行われました。

参加した高木惇喜さんは「話題となっているAIについては、活用のリテラシーを高めることが、安全な社会につながると感じました」と話していました。

この後、議論した内容を展示用ボード(B1サイズ)にまとめ、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合が開催される会場に展示される予定です。



アイデアソンの発表風景



アイデアソンの発表風景

3 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

『記事トレ』実践の感想と成果について③

●山田紘也さん(高萩清松高卒)
これまで「記事トレ」をしてきて、考える力が付いたと感じる。記事の要点を読み取り、自分の考えをまとめることは、とても重要なことだと思う。ITエンジニアになるためには、このスキルが必須なため、もっと伸ばしていきたい。

●米柘綾佑さん(佐和高卒)
「記事トレ」を行ったことで、家でも面白い話題はないかと、新聞を読むようになりました。また、記事が何を伝えたいのかを「記事トレ」を通して、理解できるようになりました。しかし、まだまだ早く読みすぐに理解するのが難しいので、これからも家でも行っていきたい。

●一戸虹都美さん(水戸三高卒)
文章を書くことが仕事のプロが書いた文を読むことで、自然と伝わりやすい文章を書くことが出来るようになった。記事の内容も興味深いのが、特に文章の構成が参考になった。社会人として、ニュースの確認を忘れないようにしたい。

●佐藤 豪さん(石岡一高卒)
まず、第一の成果は記事を読むスピードが上がり、大切な文章を見つけることが出来るようになった事です。他にも、この機会があったことで様々な出来事を知ることが出来ました。

●小野瀬あゆさん(那珂高卒)
自宅で新聞を読む機会がない為、「記事トレ」により、社会の出来事を知ることが出来ました。また、要約では情報の取捨選択能力を、感想では記事を読み考える力も身に付けられました。この能力を今後にも活かしていきたい。



2 応援メッセージ②

茨城県立筑波高等学校

地域とともにある学校づくりを目指す筑波高等学校では、人材育成の一環で体験的地域学である「つくばね学」も進めています。また、2024年度の入学者選抜から、大学への進学に対応した「進学アドバンスコース」と、就職や専門学校などへの進学を目指す「地域キャリアビジネスコース」の2コースを普通科に設置するなど完全コース制に変わります。

石塚照美校長は「地域とともにある学校づくりを目標に、次世代を担う人材育成に努めていきたい」と意欲的です。本校のAIに関する高校生セミナーも活用するなど、地域連携を活かし人材育成に取り組まれています。



石塚照美 校長

自分の未来は自分で考え自分で創りあげる

茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131 茨城県水戸市下大野町6342 電話029-269-5500